

## 「第3回 三好市水道事業等経営審議会」 会議録

開催日時:平成29年6月22日(木) 13:30~15:30

開催場所:三好市役所 本庁2階 第2会議室

出席者:(委員)11名

(事務局)水道課職員3名

### 1. (審議事項1) 第2回会議録の確認について

議長	第2回三好市水道事業等経営審議会を開催します。 前回の審議会で審議委員名簿をもとに審議会ごと2名の方を指名することとなっております。本日の会議録署名者は6番委員、7番委員を指名します。よろしくお祈いします。 まず、第2回会議録の確認について、事務局より説明をお願いします。
事務局	第2回会議録について、先日郵送をさせていただきました。内容についてご意見等なければ第2回の署名者に署名をお願いしたいと考えます。修正がありましたら、修正後、署名をお願いします。その後、ホームページにて公開をさせていただきたいと思ひます。
議長	内容についてはいかがか。
委員	異議なし。
議長	それでは、この内容で第2回会議録署名者2名に署名をお願いします。

### 2. (審議事項2) 過去の料金改定状況について

議長	過去の料金改定状況について事務局から説明をお願いします。
事務局	本日は、過去の料金改定状況、各施設の平均使用料、徳島県内の他自治体の水道料金の3点についてご審議いただきたいと思ひます。まず初めに過去の料金改定状況についてご説明させていただきます。  <b>(資料「過去の料金改定状況」説明)</b>
議長	ただいま事務局より過去の料金改定状況について説明いただきました。三好市合併後に平成21年、24年と20%を超える改定がなされております。また平成26年には消費税改正による改定も行われております。この改定状況について、何かお気づきの点がありましたら、ご意見よろしくお祈いします。
委員	過去の改定状況をみると、20~50%の値上げがなされているようだが、その都度今回のような審議会により市民の声を取り入れているのか。それとも議会による議決のみか。

事務局	今までの改定については議会のみです。平成 20 年の値上げについては、池田町の上水道のみの値上げとなっております。こちらについては、平成 18 年 2 月に三好市が誕生したわけですが、その前段で行われた合併協議会の水道部会で池田町の上水道部分については値上げの必要があるのではないかという協議もあったという話は聞いております。
委員	この値上げについては区域拡張の事業の関連もあるのではないかと。
事務局	そういったことも含めて値上げの必要があるという議論が行われたかと思えます。
委員	この改定状況の備考欄に水道未普及地域解消事業や簡易水道再編推進事業生活基盤近代化事業といったのがあるが、将来に向けてこういった事業を行うということか。行うということはより一層負担がかかるということか。
事務局	今後は拡張を行うというよりも、現在入っている管が老朽してきますので、こちらを取り替えて行くという事業はあるかと思えますので、資金が必要となってきます。
委員	資金の財源として過疎債などでお金は借りられないのか。
事務局	財源として過疎債等でお金を借りることはできますが、それらのお金は返済が必要となってきます。今後は国からの補助金がいただける事業に該当する工事になってくるかというのが問題になってくるかと思えます。
議長	第 1 回、2 回と審議を重ね、改定状況の背景についても説明をいただいたところです。今後の事業計画等によっても、今後の改定状況も変わってくるかと思えますので、こちらを次回以降に整理していければと思います。

### 3. (審議事項3) 各施設の平均使用料について

議長	各施設の平均使用料について事務局から説明をお願いします。
事務局	<p style="text-align: center;"><b>(資料「各施設の平均使用料」説明)</b></p> <p>ただいま事務局より各施設の平均使用料について説明いただきました。こちらが現在の実態ということですが、このことで何かお気づきの点はございますか。</p>
委員	私は地域によってもっと差が開くのではないかと考えていたので、前回の審議会でデータの提出をお願いしたわけですが、山間部は基本料金が高いが使用量が少ないから、ひと月に支払う水道使用料としては標準化されているなというイメージです。

委員	料金改定では、各施設間の料金の差を埋めたいということかと思うが。
事務局	そうです。各施設の料金統合を行いたいと考えております。
委員	全部を一律に平均化するというのではなく、各地域の実情を考慮したものにはできないのか。
事務局	統合計画では料金統一ということを掲げていますので、最終的には一律にしたいと考えます。
委員	基本料金で 2,000 円近く差がある中で地域性を考えずにいきなり統一料金とするのはいかがと思うが。
事務局	そちらにつきましては、段階的に行う予定でいます。
委員	こちらの調整についても審議会で行うのか。
事務局	次回以降で料金改定のシミュレーションを行いながら審議をしていただきたいと考えております。
議長	事務局からは現在の説明がありました。各委員さんからは地域の背景などを今後教えていただければと思います。
委員	山城の大野・上西宇なんかは地元が施設自体は地元が作っている。その後、サンリバーや山城荘がやってきて使用量が増えたのでタンクなどは町が設置している。
議長	各地域でそういった背景があるかと思います。
委員	個々の事情を加味して料金改定していくとなると、感情的なものも入ってきて微妙なものになってこないか。
委員	平成 20 年に池田だけ 50%もの値上げを行って、住民から批判の声は無かったか。
事務局	意見は色々あったかと思いますが、合併もありましたので他の町村と比べて池田の上水道が低いので他町村に近づけるといった議論が合併協であったということで納得いただいた面もあるかと思います。
委員	当時 50%の値上げでも納得してもらえているので、20~30%と値上げをしたとしても説明さえしっかりすれば納得していただけるのではないか。
委員	住民は 100 円の値上げでも、いい思いはしないと思いますよ。
議長	平成 20 年の値上げの前は基本料金が 1,000 円しない状態で、かつ、合併をする他町村と比べて安いということもありました。また、その後も消費税率アップによる改定もあわせて 2 度の改定がありましたので、

委員	当時とは状況が少し違うかとは思いますが。  現実として、値上げを行ってきている現状でも赤字になってきているわけで、この経営状況を改善するためには値上げは避けられないということですね。
事務局	簡易水道は赤字相当分を一般会計より繰り入れていたが、この4月からは上水道と一本化されております。統一後の上水道会計として、経営状況がどのようになるかといった予測などを次回以降のシミュレーションでお示しさせていただきたいと考えております。

#### 4. (審議事項4) 徳島県内の他自治体の水道料金について

議長	徳島県内の他自治体の水道料金について説明をお願いします。
事務局	<b>(資料「徳島県内の他自治体の水道料金」説明)</b>
議長	三好市が徳島県内の市では一番高い基本料金ということですが、阿南市や小松島市と比べて倍以上になる理由はどのようなところにあるとお考えでしょうか。
事務局	阿南市は浄水場を視察させていただいたことがあるのですが、まず原水が違います。阿南市の場合は井戸を掘っておりまして、井戸水だけです。消毒による処理のみです。それに対して三好市の場合は、吉野川から林浄水場にポンプで汲み上げます。汲み上げられた水にはゴミなどが入っておりますから凝集剤を注入しまして、ゴミを取り除く処理をしています。それから濾過施設を通過して飲み水ができるわけです。この時点でも、電力費、薬品費、施設の維持費が違ってきます。次に配水の方法ですが、阿南市にはそんなに大きな山がありませんからある程度の高さに大きなタンクを据えておきますと自然流下により配水されます。三好市の場合は、林浄水場からシンマチ配水池に一度送りまして、そこからシンヤマを経由して中西の方へまで配っております。簡易水道地域にしても、山城町なんかは山が多いですから飲料水を作ることに、配ることにどうしても経費がかさんできます。
委員	阿南市なんかは三好市の何倍もの水量が必要となるかと思うが、井戸水だけで大丈夫なのか。
事務局	阿南市は浄水場の中に大きな井戸を掘っておりまして、常時ポンプで上げておるようです。阿南市にも簡易水道はありまして、そちらについては井戸水でないものもあるかと思えます。
委員	三好市は家が点在しており、配水管の総延長を戸数で割ると、県内で一番長いのではないか。
事務局	詳しい数字は現在持っていませんが、三好市は面積も広く、そういっ

	<p>た面でも経済効率というのは良くないと思います。また、配水管の多くが更新時期をむかえております。更新するとなりますと、平均で1mあたり3万円の費用が必要になります。</p>
委員	<p>徳島県の市の中で三好市が一番高い基本料金であるという中でさらに値上げをするということに市民が納得するかですね。</p>
委員	<p>現在の料金設定で赤字経営ということだが、赤字解消のために値上げをするという以前に赤字経営の原因をつきとめる必要があるのではないか。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおりだと考えます。第4回の審議会において、過去の決算状況や今後のシミュレーション、資産内訳等をお示して原因についてご説明できればと考えております。</p>
委員	<p>同じ公共料金で生活に不可欠という点で電気と水道を比べさせていただきますと、四国電力も山間部が多く施設に費用が多くかかっているかとおもいますが、平野部でも山間部でも同じ料金設定で安定した経営をされているかと思えます。何が違うかと考えると、四国電力は株式会社で収益を上げ配当をしなければならぬということで経費削減など経営努力をなされていると思えます。一方、水道は自治体が運営しているということで経費に対する考え方が甘いのではないかと思います。</p>
事務局	<p>水道の目的が公衆衛生の向上ということから始まり、普及率の拡充を求められておりました時代もありました。平成29年4月からは旧簡易水道事業も上水道事業に統合され、上水道事業は公営企業ですから、企業としてより経済性を発揮していかなければならないと考えております。</p>
議長	<p>電気と水道、ともに生活の源ですですから、見習える点については見習わないといけませんね。他自治体との比較という点では、美馬市も同じ時期に合併をしており、広大な山間部を抱えておりますね。</p>
委員	<p>美馬市は三好市より人口が1割ほど多いぐらいだが、営業収益を比べてみると基本料金が安いのに営業収益が1.8倍ほどあるが、どうことが考えられるか。</p>
事務局	<p>こちらの資料は上水道事業のみの資料となっております。美馬市上水道の給水人口は26,700人であり、10,600人の三好市と比べ約2.5倍となっております。こちらが大きい理由ではないかと思います。</p>
委員	<p>美馬市の方が平野部に人口が密集し、企業も多いということですね。</p>
事務局	<p>はい。</p>
議長	<p>他自治体との比較から三好市の抱える問題点などが見えてきたかと思えます。事務局には、次回以降の資料に問題点の分析ができるものを添付していただければと思います。数字の分析についても、この審議</p>

	<p>会の役目になってくるかと思しますので、議員の皆さんその他お気づきになった点はございませんか。</p>
委員	<p>現在、赤字経営となっているがどのような財源をもって補てんを行っているのか。</p>
事務局	<p>上水道会計については、旧池田時代に積み立てていた現金で補てんを行っております。</p>
委員	<p>上水道は毎年 5,000 万の赤字ということなら、現金もあと数年しか持たないですね。</p>
事務局	<p>はい。現金が数年しかもたないというのも、この審議会を設置させていただきました理由の一つでもあります。</p>
委員	<p>上水道事業の売り上げが少ないのに経費が多く必要なので赤字経営となっているということですので、逆に考えますと、どう収益を増やして経費を減らすかによって経営改善をおこなわなければならないかということです。経営統合されました簡易水道会計については、どうなっておりますか。</p>
事務局	<p>決算上黒字のように見えますが、赤字相当分を一般会計の繰入金によって賄っている状況であります。</p>
委員	<p>この 4 月から一本化されて上水道会計となると、収益の見込みはどのようになっていますか。</p>
事務局	<p>平成 29 年度会計においては、簡易水道会計時代並の繰入金を予定しておりますので現金ベースでは旧簡易水道会計の部分については減ることはないかと思えます。次回以降のお話になるかと思えますが、損益計算を行う際に、簡易水道会計ではなかった固定資産の減価償却費という経費が発生しますので、こちらが赤字の要因となってくと予測しております。</p>
委員	<p>簡易水道の損益の予測はできるのか。</p>
事務局	<p>予算ベースでは旧簡易水道分につきましても考慮しておりますので、数字は出せます。</p>
委員	<p>というのも、統一した水道料金を設定するのであれば上水道会計の資料だけでは料金を上げる下げの議論はできない。</p>
事務局	<p>今回は料金体系の仕組みを分かっていたことを主点として、上水道会計の資料を用いるのが適しているとして判断し、上水道会計のみの資料となっております。今後のシミュレーション等については旧簡易水道の数字も資料に入っていきます。</p>
議長	<p>できれば、三好市の数字だけでなく類似団体の経営状況がわかる資料</p>

	も分析していただけると良いと思います。
委員	事務局に経費削減案などはあるか。人員はどうなっておるか。
事務局	上水道会計に6人、簡易水道の池田、井川分で5名、三野分に2名、山城分に1名、飲料水供給施設分に1名の計15名となっております。
議長	行政面積を考えると厳しいか。
事務局	システムによる遠隔管理等を行っておりますが、議長の言われているとおり行政面積を考えますとこれ以上の人員削減は厳しい状況です。
委員	メーターの検針は毎月行っているのか。
事務局	毎月行っております
委員	2か月に1回でも良いのでないか。そういう自治体もあるかと思う。
事務局	徳島市や美馬市がそのような形態をとっております。
委員	検針委託料の経費はいくらか。
事務局	地区によりますが1件あたり90円から100円となっております。年間約1,000万円の支出となっておりますので、2か月に1回という検針方法に変更することで年500万円の経費削減になるかと思えます。ただし、毎月検針には漏水の早期発見という意味合いも含まれておりますので、簡単に結論が出せないところではあります。
委員	費用は抑えられん、人口減で収入は減っていく。となると、値上げをして単価を上げないといけないということか。
議長	実際に値上げをすることとなると住民の許容量はどこになるでしょうか。
委員	行政側としては赤字にならない程度の運営ができるようにしたいと考えていると思うが、旧の上水道会計で年間5,000万円の赤字があつて、給水世帯が約5,000戸ということであれば、単純に1戸あたり年10,000円ということだから月では約800円の値上げをしないといけないということですよね。
委員	基本料金が現在1,600円だから50%の値上げになる。
委員	これまでに何回か値上げを行ってきているが、その要因には施設拡張などが含まれていないか。
事務局	過去の改定については、拡張や布設替え事業に伴って行っている部分もありますが、これらの事業費を料金に転嫁しきれてなかったことが現在の収支バランスとなっているのではないかと考えます。

委員	住民としても改定に見合っただけのサービス拡充があれば納得も行くだろう。ただし、そうであったとしても料金がいきなり上がるということは負担が大きい。例えば一般会計で3年間は補てんしてもらって段階的に値上げをするような手法はとれないのか。
事務局	住民への負担が大きくならないよう、財政担当者とも協議をし、段階的な値上げの方法がとれないかと考えます。
議長	今回はかなり実体的なことを審議いただいたかと思います。次回はさらに具体的な話が出てくるかと思います。これで第3回三好市水道事業等経営審議会を終了する。

会議録署名      平成   年   月   日

---



---